



令和6年度キャリアアップ講座が始まりました！

令和6年度キャリアアップ講座が7月下旬から続々と始まっています。本講座は、福岡県内の教育関係職員（国立・公立・私立の幼稚園、認定こども園、小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校、高等学校、特別支援学校及び高等専門学校の教職員）を対象に、そのキャリアアップを図ることを目的として開かれているものです。私たち長期派遣研修員も選択研修の一つとして多くの講座に参加し、知見を広げたり、学び直しをしたりして自己研鑽に励んでいます。

今回は私たちが受講したキャリアアップ講座の中から、3つの講座で学んだことをご紹介します。

110講座 小学校外国語の授業づくり

「外国語活動・外国語科の授業づくり」において一番のポイントは「言語活動」です。言葉は人と人をつなぐツールであり、それは一朝一夕で身に付くものではありません。しかし、言い換えれば、日々のやり取りの中で何度も繰り返しながら身に付けられるということでもあります。言語活動を通して何のためにどのような力を身に付けたいのか、いつも教師が考えておく必要があります。そのようにして身に付けた力は、本物のツール、世界とつながるツールになるはずですが、子供達と英語でのやり取りの楽しさを味わいながら、学びを深めていきたいと改めて感じました。



201講座 子供の学びを未来につなぐ「キャリア教育」

本講義では、キャリア教育における基礎的・汎用的能力の具体についての講義を受けた上で、自校のキャリア教育計画を振り返ったり、キャリア教育の視点に立った各教科等の学習指導について構想したりしました。そこで、日常の授業で子供達が基礎的・汎用的能力を養うことができるように、学校全体や学年全体で各教科等の学習内容や題材、学習活動等をキャリア教育の視点で見直すことの重要性を感じました。まずは育成したい資質・能力を焦点化し、子供達にとって身近な授業を変えることから始めていきたいです。

606講座 進めよう！発達障がいのある子供の理解と指導

研修前半では法定背景や ABA というキーワードを学んだことで、子供達の自立に向けて保護者と教員の思いをつないだ効果的な支援を行っていくために、今後は現在学習していることへの価値づけを保護者と丁寧に共有していきたいと感じました。研修後半では『学習指導要領解説自立活動編』に掲載されている「流れ図」や「課題関連図」というツールで個別の指導計画作成の手順や考え方を実践的に学びました。個々の状態に即した自立活動を計画していくために、子供の実態を多面的・多角的に見取るようにしていきたいです。

プロジェクト研修 Dチームの紹介

D チームは、中学校籍2名、小学校籍2名で活動しています。定期的に行っているチーム会議では、それぞれの研究について、校種や専門教科の違いを生かして意見を交換しながら活発に学び合っています。私たちのチームの強みは、和気あいあいとしつつも、一人ひとりの研究に対して真剣に考え、親身に寄り添っているところです。チームで支え合い、多くの学びがある1年間にできるように取り組んでいます。

